

水戸南の 授業改善プロジェクト

水戸南高校で実践した授業改善推進の取り組みについてご紹介します。

教員による相互授業参観（課題を探る）

教科を超えた教員同士の授業参観を実施

全ての教員を対象に授業参観期間を設け、一人一コマ以上を目標に授業参観を実施しました。

授業者は授業をする上で意識していることを、参観者は授業を見て気づいたことや改善のアイデアをスプレッドシートに記入してもらい、授業改善のための課題を探しました。

生徒座談会（解決方法を探る）

良い授業とはどんな授業か、生徒同士で意見交換

各学年、各クラスから1～3名の生徒に参加してもらい、生徒座談会を実施しました。

「生徒が考えるわかりやすい授業、やる気が出る授業」をテーマに、普段の授業を振り返りながら意見交換をしてもらいました。座談会で出た生徒の意見は、授業づくりの参考になるように教員に

共有しました。生徒が普段どんなことを考えながら授業を受けているのか生の声を聞くことができ、教員にとっても授業と向き合うための貴重な時間となりました。



スローガンの掲示（授業づくりの指標）

授業を通して身につけたい力をスローガンに！

生徒座談会では、授業についての意見交換と一緒に「授業を通して身につけたい力」というテーマでスローガンを考えてもらいました。完成したスローガンは生徒にとっては授業を受ける上での目標として、教員にとっては授業づくりの指標として役立つように各教室に掲示しています。

完成したスローガン

授業で身につける3つの力

- 1 知識や技能
- 2 考えたり表現したりする力
- 3 他の人の活動を見て、自分の学習を振り返る力

「できた」「わかった」を増やそう！